

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 流通科学大学 実施報告書



実施主体 サービスマネジメント学科 加藤曜子ゼミ

実施内容 平成25年10月19.20日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

2年ゼミ生については、子どもの権利について学習し、またオレンジリボンについて調べ、ポスターを作成。3年ゼミ生については、「父親について考える」のテーマで、育児に関する父親の認識や実態を調べたうえで、ポスターを作成。

②実施期間に取り組んだ具体的内容 オレンジリボン運動は6年目を迎えました。2日間、子どもと親と若者や祖父母を対象にした「子どもの明るい未来の部屋」を開設。ゼミ生の学習した内容を展示するとともに、折り紙コーナー、塗り絵コーナー、リボン作成コーナー、及び兵庫県児童養護施設協議会との共催で、「子育て」に関する施設長からミニ講義、さらに乳児院スタッフによる学生向け赤ちゃんの抱き方術獲得などの機会を設けた。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

2年生の学生「自分も難しい家庭に育ったが、父も母も自分を愛してくれた。しかし親に愛されずに虐待をされてしまう子どもたちがいることは残念です。少しでも多くの子を助けられる活動に参加し、賛同が得られたことは有意義な活動であったと思う」「オレンジリボン活動を通じて子どもの大切さを実感することができた」

3年生「オレンジリボンを通して子育てについて、揺さぶりはだめだということなども考えさせられた」「今後もこの活動に参加できればいいと思う」「親子で参加してくれ遊びを通して楽しめた。一人ひとり個性が違っていいんだと思った」(抜粋)

